



滋賀バイオ産業推進機構 平成24年度 通常総会

平成 24 年(2012 年) 6 月 14 日(木)

大津プリンスホテル 2 階 比良

1. 挨拶

滋賀バイオ産業推進機構会長
滋賀県知事

嘉田 由紀子

2. 議事

議案第1号(報告事項):役員改選について

議案第2号(承認事項):平成 23 年度事業報告および収支決算について

議案第3号(報告事項):平成 24 年度事業計画および収支予算について

3. 講演会

植物資源活用による産業化の可能性を探る

「中央アジアに甘草を求めて - 主要生薬流通と甘草を取り巻く現状を踏まえ」

「滋賀県資源の新たな原材料探索～よもぎについて～」

「大和当帰の優位性の確認」

「大和当帰の栽培技術の開発」

「生薬関連技術の必要性・可能性」

○交流会(2 階 比叡) :17:45～19:30

議案第1号(報告事項)

役員の変更について

次のとおり、規約第9条の規定により役員を選任することについて、第24条第2項の規定により理事会において承認されましたので報告します。

新たに選任した役員

区分	所属、役職等	氏名	選任年月日
監事	株式会社滋賀銀行常務取締役	西川 健三郎	平成 23 年 8 月 23 日
理事	(一社)滋賀経済産業協会 専務理事	北川 鉄樹	平成 24 年 4 月 1 日
理事	立命館大学 教授	久保 幹	平成 24 年 4 月 1 日
理事	長浜市副市長	吉浜 隆雄	平成 24 年 4 月 1 日

滋賀バイオ産業推進機構役員

任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日

（敬称略）

区分	所属、役職等	氏名
会長	滋賀県知事	嘉田 由紀子
副会長	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	山田 康之
理事長	奈良先端科学技術大学院大学副学長	新名 惇彦
副理事長	滋賀県商工観光労働部長	塚井 拓
理事	株式会社東レ経営研究所特別研究員	大島 桂典
理事	洛東化成工業株式会社代表取締役社長	川畑 悟郎
理事	慶應義塾大学名誉教授	清水 信義
理事	長浜バイオ大学コンピューターバイオサイエンス学科長	池村 淑道
理事	立命館大学生命科学部教授	久保 幹
理事	滋賀医科大学分子神経科学研究センター教授	遠山 育夫
理事	滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科教授	長谷川 博
理事	特定医療法人社団御上会野洲病院理事長	福井 淳博
理事	一般社団法人滋賀経済産業協会専務理事	北川 鉄樹
理事	株式会社日吉代表取締役社長	村田 弘司
理事	一般社団法人バイオビジネス創出研究会 顧問理事	森 建司
理事	長浜市副市長	吉浜 隆雄
監事	株式会社滋賀銀行常務取締役	西川 健三郎
監事	関西電力株式会社滋賀支店長	和田野 善明

議案第2号(承認事項)

滋賀バイオ産業推進機構 平成23年度事業報告

I. 組織の管理運営

1. 理事会等の開催

区分	月日	場所	出席者数
総会	6月16日	大津プリンスホテル	会員 48人
第1回理事会	6月16日	大津プリンスホテル	役員 13名 (うち、オブザーバー 1名)
第2回理事会	3月27日	ライズヴィル都賀山	役員 10名 (うち、オブザーバー 1名)

2. 会員の状況

会員数(平成24年3月31日)

通常会員(企業等) 54社

公益会員(公共団体、公的団体等) 61者

学術会員(大学・研究機関、学識経験者等) 91者

合計 206者

II. 事業の実施

1. 産学官連携促進事業

(1) 研究技術交流会

開催日	場所	テーマ等	参加者
24年 1月30日	大津市 (瀬田アーバンホテル)	ライフサイエンスセミナー 滋賀県における健康産業の活性化に向けて ～バイオ・健康・医療・食品の各分野からみたライフサイエンス～(立命館大・滋賀医大・ABBCと共催)	48名
(共催事業) 24年 2月14日	京都市 (京都大)	関西健康長寿関連産業活性化セミナー 第2回「予防・介護・リハビリ科学・技術の高度事業化」 ((財)京都高度技術研究所他と共催) (※関西広域基本計画事業)	155名

(2) 研究開発プロジェクト構築支援

OSBOとして重点的に取り組むべきテーマについて事業検討委員会の開催

<委員会メンバー>

山田副会長・新名理事長・大島理事・谷口理事・森理事・藤井理事

■ 第1回会議(平成23年4月6日:コラボしが)

<内容> 研究技術交流会事業(産学官連携促進事業)で主に取り組むべき分野について

■ 第2回会議(平成23年11月10日:コラボしが)

- ＜内容＞薬草調査報告ならびにライフサイエンスセミナー企画
 ■第3回会議(平成24年3月8日:コラボしが)
 ＜内容＞薬草プロジェクトについて

○企業等の研究開発プロジェクト構築支援および国等競争的資金への申請支援
 国等の競争的資金の獲得に向けて、申請の支援などを実施。
 (会員企業 外資申請件数5件/採択件数3件)

2. 産業化促進事業

「びわ湖環境ビジネスメッセ2011」において特設ブース(8小間スペース)出展。各社製品のプレゼンテーションを実施。

(1) バイオビジネス展示会

(※関西広域基本計画事業 長浜バイオクラスターネットワークと共催)

開催日	場所	出展企業	結果
23年 10月19-21日	長浜ドーム 特設ブース	SBO 会員企業 7社 その他機関 3機関	来訪者総数 1489人 商談数 89件

(2) バイオビジネスセミナー

開催日	場所	テーマ等	参加者
24年 3月27日	守山市 (ライズヴィル都賀山)	「バイオ系中小企業が注意すべき経営戦略上の課題」 ～具体事例から学ぶバイオベンチャー経営の要点～ 経済産業省製造産業局生物化学産業課 課長補佐 竹本亮氏 「消費者が求める健康食品の新たな指標」 ～ハイクオリティ認証制度について～ 株式会社阿蘇バイオテック 開発室長 佐藤大吾氏	31名

(3) 情報の収集・発信

内容	時期	概要
メールマガジンによる情報提供	年間	セミナー情報、補助金情報など6回発信
ホームページによる情報発信	年間	
会員企業および県内バイオ関連企業の聞き取り調査	年間	会員企業 11社

3. その他関連事業

・後援事業

内容	時期	実施主体
立命館大学総合理工学研究機構スポーツ健康産業研究センターシンポジウム(協賛)	23.7月	立命館大学総合理工学研究機構主催
アグリビジネスカフェ(後援)	年間	第19回～21回 (主催:バイオビジネス創出研究会)
医工連携モノづくりネットワーク(後援)	24.1月	滋賀県・滋賀県産業支援プラザ共催
健康と環境ビジネス創出セミナー(後援)	24.2月	長浜バイオクラスターネットワーク主催

平成23年度収支決算書

収入の部

(単位:円)

区分	当初予算額	補正額	現予算額	決算額	差引額	備考
01 会費収入	1,160,000	△ 80,000	1,080,000	1,080,000	0	11 会費収入 1,080,000
02 負担金収入	3,210,000	△ 708,000	2,502,000	2,501,500	△ 500	12 参加費 121,500
						13 県負担金 2,380,000
03 雑収入	0	0	0	275	275	14 利息 275
04 繰越金収入	358,000	0	358,000	358,988	988	15 平成22年度繰越金 358,988
合計	4,728,000	△ 788,000	3,940,000	3,940,763	763	

支出の部

(単位:円)

区分	当初予算額	補正額	現予算額	決算額	差引額	備考
01 管理費	1,850,000	△ 150,000	1,700,000	1,644,624	△ 55,376	01 会議費 791,804
						02 事務費 852,820
02 事業費	2,878,000	△ 638,000	2,240,000	1,930,261	△ 309,739	03 産学官連携促進事業費 633,273
						04 産業化促進事業費 1,296,988
合計	4,728,000	△ 788,000	3,940,000	3,574,885	△ 365,115	

次年度繰越額

$$\text{収入} - \text{支出} = 3,940,763 - 3,574,885 = 365,878 \text{ 円}$$

監 査 報 告 書

平成23年度滋賀バイオ産業推進機構決算書について、平成24年6月6日に関係書類等を監査した結果、適正かつ正確に処理されていたことを認めます。

平成24年6月6日

監事 関電 和田野幹事 印

監 査 報 告 書

平成23年度滋賀バイオ産業推進機構決算書について、平成24年6月8日に関係書類等を監査した結果、適正かつ正確に処理されていたことを認めます。

平成24年6月8日

監事 滋賀銀 西川監事 印

議案第3号(報告事項)

平成24年度事業計画

滋賀バイオ産業推進機構は、「びわこバイオステージ構想」に基づき、企業や大学、研究機関、産業振興団体などの幅広い参画を得て、人材育成、情報提供、産学官の交流・連携の場づくり等の事業を通じ、バイオ産業の創出に向けたネットワークづくりを推進している。

また、バイオ産業創出の基盤についても、長浜地域においては、滋賀県版経済振興特区制度の成果によるバイオ関連企業の立地、インキュベーション施設入居、長浜バイオクラスターネットワークの発足といった産業集積基盤の形成が進み、さらに長浜バイオ大学大学院の開学や立命館大学生命科学部・薬学部の新設、滋賀医科大学と長浜バイオ大学のバイオ医療分野での連携による学術基盤の形成など、長浜地域から県内各所に広がりつつある。

これらの状況を踏まえ、本年度は、以下の事業を通じ、引き続きバイオ産業創出のネットワーク構築を推進しつつ、企業と大学等研究機関、公設試、(財)滋賀県産業支援プラザ等との一層の連携促進により、研究開発プロジェクトの構築や新事業創出の支援を積極的に推進する。

I. 組織の管理運営

1. 理事会等の開催

当機構の運営方針、事業計画・事業報告、収支予算・決算等必要な事項を審議・決定し、事業の企画・運営等を行うため、各種会議を開催する。

- ・総会（年1回開催予定:6月14日）
- ・理事会(年2回予定:6月14日、3月頃)

II. 事業の実施

1. 産学官連携促進事業

(1) 研究技術交流会

薬草関連プロジェクトの検討を目的にセミナーを開催。SBO会員を筆とする企業に対して国内の薬草事業の展開例を示し、これを参考にプロジェクト構築に向けた議論を深める。その後、外部資金プロジェクトの獲得にむけて「研究開発プロジェクト構築支援事業」に移行する。

また、立命館大学、滋賀医科大学、長浜バイオ大学を中心とする県内ライフサイエンス系大学シーズの活用を目的に、ライフサイエンスセミナーを開催する。

(2) 研究開発プロジェクト構築支援

企業や地域のニーズ、大学・公設試などのシーズを積極的に収集し、産学官連携による研究プロジェクトの構築を進める。また、国等の競争的資金の獲得に向けた研究計画のブラッシュアップや研究体制の構築など、会員企業をはじめとするバイオ関連の研究開発支援を行う。

2. 産業化促進事業

(1) バイオビジネス展示会

びわ湖環境ビジネスメッセと連携して、ビジネスパートナーや販路開拓を求めるバイオ関連企業やベンチャー、団体などによる技術や商品の展示を行い、併せて、ビジネスプレゼンテーションも行

うことにより、B to B を重視したビジネスマッチング事業を行う。

(2) バイオビジネスセミナー

中小企業者等を対象に、バイオ産業への参入を促進するため、最新のバイオテクノロジーや市場の動向、バイオテクノロジーを活用して事業創出事例などに関する情報を提供するためのセミナーを行う。(1 回程度)

(3) 情報収集・発信事業

会員企業や機関等の研究開発、ビジネス活動の状況を訪問により収集・整理するとともに、会員に関する情報や補助金等の支援策の情報を、ホームページや会員メール等により情報発信を行う。

また、会員企業やインキュベーション施設入居ベンチャー企業等の販路開拓等を促進するため、展示会等への参加により滋賀からの情報発信を行う。(随時)

3. その他関連事業

本機構の目的を達成するため、関係機関との共催・後援事業の実施、会議、イベント等への参加などを行う。(随時)

平成24年度収支予算

1 収入の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
会費収入	1,080	会費(通常会員 20千円×54会員)	1,080
負担金収入	3,143	参加負担金、その他負担金	393
		県負担金	2,750
合計	4,223		

2 支出の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
管理費	1,646	会議費	830
		総会、理事会等	
		事務費	816
事業費	2,577	産学官連携促進事業	767
		研究技術交流会	
		研究開発プロジェクト構築支援	
		産業化促進事業	1,766
		バイオビジネス展示会	
		バイオビジネスセミナー	
		情報収集・発信事業	
		その他関連事業	44
		共催セミナー開催など	
合計	4,223		

~MEMO~